

農林業にまつわる伝統文化とそれらを伝える森林理想郷

伝統文化

本地域は、古事記、日本書紀における天孫降臨の地として、多くの神話・伝説の史跡とともに、野山の至る所に神祠(かみほこら)や野仏が祀られています。人々の信仰は篤く、様々な農耕古神事や、「刈干切唄」「ひえつき節」といった日本を代表する農業労働歌など、独特の農林文化が息づいています。そして、農林業を通じて育まれた地域連帯の中で、長い伝統を持つ様々な「神楽」が伝えられています。これらの伝統文化は日本の文化的・精神的な支柱として極めて重要です。



フォレストピア 森林理想郷を目指して

森林資源とそれによって育まれた伝統的な生活や文化を保全活用し、心豊かな生活を創出する「フォレストピア(Forest-Utopia: 森林理想郷)構想」の下、地域づくりが進められています。



フォレストピア学びの森
県立五ヶ瀬中等教育学校

世界的に森林資源の減少が進行し、それに繋がる伝統文化が脅威にさらされている今日、本地域は、森林保全管理が生み出す持続的な農林業によって、様々な伝統文化が受け継がれており、世界的に貴重な事例です。

応援してください 世界農業遺産への取り組み

高千穂郷・椎葉山の農林業は、我々の暮らしの根本を支える森林を保全管理し、棚田などの地域の美しい景観を形成するとともに、世界でも貴重な伝統文化を伝えています。

しかし、激しさを増す国際競争や農林家の高齢化など、大きな課題に直面しています。

この状況を克服するためには、地域の農林業の魅力を再発見して世界にアピールし、地域の活性化に繋がる「世界農業遺産」への取り組みが必要です。

先人から受け継いだ森林や農地、伝統文化を未来に繋ぐため、応援をよろしくお願いいたします。



三世代での麦踏み

高千穂郷・椎葉山 世界農業遺産推進協議会事務局

高 千 穂 町
日 之 影 町
五 ヶ 瀬 町
諸 塚 村
椎 葉 村

協力:宮崎県

協議会事務局連絡先 (高千穂町農地整備課)

電話: 0982-73-1211

FAX: 0982-73-1227

電子メール: nouchi@town-takachiho.jp

目指せ！世界農業遺産



宮崎県シンボルキャラクター
「みやざき犬」

たかちほごう・しいばやま

高千穂郷・椎葉山

世界農業遺産推進協議会

世界農業遺産とは

世界農業遺産(Globally Important Agricultural Heritage Systems: GIAHS)とは、国連食糧農業機関(FAO)が2002年から開始した、次世代に継承すべき重要な伝統農法や農業文化などを有する地域を認定し、その保全と持続的な活用を図るプロジェクトです。日本からは、新潟県佐渡地域の「トキと共生する里山」など、5つの地域が認定されています。



認定の効果:地域活性化

認定された地域では、農家や住民の方々の励みになり、農産物のブランド化等の取り組みが進み、地域を訪れ農業体験を行う人が増えるなど、地域活性化が進むことが期待されます。

世界農業遺産の認定を目指して

フォレストピア構想で連携のある高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町・諸塚村・椎葉村と関係団体は、たかちほごう・しいばやま高千穂郷・椎葉山世界農業遺産推進協議会を結成し、この地域の先人が築き、今も維持されている大切な伝統的農林業と文化を未来に繋ぐため、世界農業遺産認定を目指す活動を行っています。



※フォレストピア構想=森林理想郷構想

高千穂郷・椎葉山の森林保全管理が生み出す 持続的な農林業と伝統文化 ～森と農林文化が創る森林理想郷～

森林を保全管理しその恵みを活用する農林業

本地域は、険しい山々に囲まれ、古来、高千穂郷(たかちほごう)及び椎葉山(しいばやま)と呼称された山間地です。厳しい環境下で人々は、森林からの恵みを巧みに活用した複合的な農林業システムを築き上げ、その源である森林を大切に保全管理してきました。



①焼畑

日本の焼畑は縄文時代の農業を色濃く残した農業と言われ、1950年頃まで日本各地で行われていました。伝統的な焼畑は焼く場所を毎年移し、4年程度穀類を栽培した後、休閑期を設け森林を再生させる循環型農業です。現在でも椎葉村で行われており、日本で唯一継続している貴重な事例とされています。



②木材生産とモザイク林の形成

本地域の森林利用の主体は、現代では焼畑から林業に移りましたが、諸塚村において村域全体を対象としては日本初となる森林認証が取得されるなど、森林を保全管理する伝統が続き、全国有数の木材産地となっています。これは、棚田や畜産などとの複合経営によって安定性を高めている林家(農林家)が多いことも一因です。これを象徴するのが諸塚村で見ることのできる、スギ等の針葉樹林、シイタケ原料となる落葉広葉樹林、常緑の照葉樹林の組み合わせによる特徴的な森林景観であり、モザイク林と呼ばれています。



③1,800haの棚田と500kmの山腹水路網

本地域の農地は、標高の高い傾斜地にあるため、水の確保に苦労していました。そのため人々は、より標高が高く、数十キロメートルも離れた山奥に水源を求め、急峻な山腹に「山腹水路」を建設して、水を確保しました。先人の多大な努力により、現在では総延長500km以上の山腹水路網と1,800haを超す棚田が造成され、日本を代表する棚田地域のひとつです。



④その他様々な伝統的な農林業

前述した以外にも、日本における発祥の地と言われるシイタケ栽培、山茶からの伝統と日本一の生産量を誇る釜炒り茶、地域で採取した粗飼料を与え少頭数を大切に育てる伝統を受け継ぐ和牛生産など、本地域は山間地の環境で育まれた、特徴的な農林業を維持しています。

